

「選ぶ目磨いて」投信入門

「良質な金融商品を育てよう」
—そんな合言葉で活動している女性
の専門家グループが、投資信託を買
うための入門ガイドを作った。投信
を販売する銀行や郵便局などが「売
り手の論理」に走りがちであること
に警鐘をならしつづ、事業者と消費
者との間の情報格差を埋め、両者の
懸け橋になることをめざしている。

5人で構成するグループ
の代表は、東京証券取引所
社外取締役の高橋伸子さ
ん。名前は「良質な金融商
品を育てる会（フォスター
・フォーラム）」とした。
約2年前にグループを発
足させたのは、金融商品が
買い手のニーズではなく、
手数料稼ぎを狙う事業者側
の思惑で売られているケー
スが多いことへの危機感か
らだった。パンフレットな
どの説明もわかりにくすぎ

女性専門家らガイド作成



ると感じていた。

単に批判するのではな
く、買い手と売り手の双方
の意識を向上させたいとい
う狙いで研究を重ね、今回
初めて、投資信託の「バイ
ヤーズ・ガイド」を作成し
た。ガイドでは、投資信託
を購入した際の損益の計算
方法など12の質問項目を立
て、「いいえ」が一つでも
ある

あれば、すぐには買わない
よう助言している。

「選ぶ目を持っていない
と『売る側』につけ込まれ
る。投信を既に買った人も
含めて、ガイドを利用して
最低限の知識をもってほし
い」とメンバーたち。今後

質問
・「目論見書」を読みましたか
・設定されてから3年以上経過していますか
・純資産総額は30億円以上ありますか
・基準価額が毎日変わることを知っていますか
・販売手数料、信託報酬を理解していますか
・基準価額が大幅に下落しても生活は大丈夫ですか